

多様性が生んだダイナミズム

—感染予防介入としてのHIV抗体検査の構築と実践—

感染の有無を判別することを本来の目的とするHIV抗体検査に加えて、
感染予防介入としての抗体検査の構築には、
多様な専門職と行政そして当事者の協力がありました。
その経過を追いながら、「多様性が生んだダイナミズム」を考えていきたいと思っています。



日時

2026年

5月19日(火)

16:50-18:20



場所

西宮上ヶ原キャンパス
G号館201号教室



対象

一般、学生、
教職員



鬼塚 直樹 氏

元カリフォルニア大学サンフランシスコ校の
エイズ予防研究センターHIV予防教育専門官

1953年佐賀県唐津市生まれ。1976年関西学院大学社会学部卒業。
1991年から米国サンフランシスコにおいてHIV関連の非営利団体で
ボランティア活動を開始し、1993年から専従職員となりプリベンション
ケースマネジメントプログラムにケースマネージャーとして参加。
1997年にカリフォルニア大学サンフランシスコ校のエイズ予防研究
センターにHIV予防教育専門官となり、日本エイズ予防財団との協力
プログラムであるエイズ拠点病院看護職研修プログラムのディレクター
として16年間看護研修に携わる。
2013年より同大学のグローバル公衆衛生研究所に転属し、
世界各国で繰り広げられた感染予防介入及び教育プログラムの
ファイナンシャルアナリストとして勤務し、
2021年に同大学を退職。

関西学院大学人権教育研究室は、さまざまな人権課題について研究・
教育・発信を行っています。

本公開研究は、指定研究「SOGIEと人権」の一貫として開催します。

※車いすでのご来場の方は、お席の配慮などいたしますので、
事前にご連絡ください。

連絡先

関西学院大学 人権教育研究室

Tel:0798-54-6720

Mail:human-rights@kwansei.ac.jp